

## マスタープランにおける泉浄水所と千里浄水池の位置づけについて

### 1 水道施設マスタープランとは

浄水所や管路など多くの水道施設が更新期を迎えている中、水需要の減少や巨大地震への備えなど新たな課題に対応しながら、単にダウンサイジングするということではなく、水道ネットワークをより充実させていくという考え方にに基づき、およそ 40 年先、21 世紀半ばの本市水道システムの将来像を描いたもの。

### 2 泉浄水所及び千里浄水池の位置づけに関する方針

#### (1) 災害リスクを軽減する浄水施設の再構築と地下水確保 【水源】【浄水所】

- ・琵琶湖淀川水源に対する複数水源としての地下水を重視する。
- ・淀川水源は自ら処理するのではなく、スケールメリットをいかし、企業団水に依存する。
- ・地震災害の脆弱性(地盤、液状化等)からの回避を重視した浄水施設の整備。
- ・泉浄水所の処理施設については抜本的な更新ではなく、必要な維持保守に留める。
- ・片山浄水所での地下水確保と処理施設の更新・施設の再構築を図る。
- ・リスク分散としての市北部での地下水確保を目指す。

#### (2) 地形をいかす自然流下を基本とした送配水施設の再構築【配水池】【配水区域】

- ・北から南へ 100m の高低差がある地形をいかした計画づくり。
- ・環境面・危機管理面から自然流下の配水方式を基本とする。
- ・市域南部の拠点を片山浄水所、北部の拠点を企業団千里浄水池と想定した整備を進める。
- ・企業団による千里浄水池の更新、千里幹線の 2 重化により安全度が格段に向上する。
- ・広域連携による施設の共同化の取組みを積極的に推進する。

### 3 現在進められている施設整備

#### (1) 将来的な浄水施設のシフト（泉から片山へ）に向けた 2 大工事・・・資料 1-1 参照

- ① 片山浄水所水処理施設更新工事
- ② 片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事

#### (2) 千里浄水池を中心とした広域連携に関する事業

- ① 千里浄水池築造工事 <企業団> ← 本日見学していただく工事現場です。

本市を始め北摂地域に供給される水を貯める浄水池 3 池を築造（更新）し耐震化を図る。

- ② 豊中市、吹田市及び箕面市共同ポンプ施設築造工事<豊中・吹田・箕面>・・・資料 1-4 参照

- ③ 送水管布設工事（千里幹線バイパス管）<企業団>

千里浄水池から吹田市・豊中市へ水を供給するための送水管を新たに布設し、耐震化するとともに既設管との 2 重化を図る。